



太陽の子

さいたま市立常盤小学校だより
令和8年6月号(第3号)
令和8年5月28日発行

【学校の教育目標】

心身ともに健康で 思いやりの心を持ち 主体的に学ぶ常盤っ子の育成

学校は 「勉強をするところ」「友達と仲良くするところ」「安心・安全なところ」

【めざす児童像】

- よく考える子
- 思いやりのある子
- たくましい子
- かわりあい大切にしている子

あれこれ

校長 藤田 昌一

運動会

これまでに保護者の皆様から、「運動会の種目にリレーは入らないのでしょうか？」というご質問や、「ぜひ、リレーが見たいです」というご意見をいただいております。団体種目の内容を最終決定するのは、それぞれの学年ですが、要望がある旨を伝えたところ、本年度は6年生がリレーを行うことになりました。

コロナ禍以来、保護者の観覧を入れ替え制としております。私個人としては、出入口での確実な防犯チェックができれば、観覧は自由でもよいと思いますが、防犯上の観点、観覧スペースの確保、観覧マナー等、様々な心配のお声をいただいております。

本年度も、スムーズな入れ替えにご協力をいただきますようお願いいたします。

＊

作業興奮

5月中は、体力テストや運動会の練習、加えて、4年生はプラネタリウム学習、5年生は管弦楽教室など、慌ただしい毎日でした。運動会が終わり、6月に入ると行事等は少し落ち着きますが、その反面、これまでの緊張感が緩み、やる気が出なくなることがあります。その上、梅雨が憂鬱な気持ちに追い打ちをかけます。

脳研究者で東京大学の池谷裕二教授は、やる気が出ない時は、「とりあえず動くこと」「少しでも始めること」が大切であると述べています。始めてしまえば、「作業しているうちに脳が興奮してきて、作業に見合ったモードに変わっていく(作業興奮)」のだそうです。

やる気が出ない時こそ動き出し、脳に「作業興奮」を起こさせたいと思います。

＊

学力調査の問題

本年度の4月に実施された「全国学力学習状況調査」の問題に、辻村深月さんのエッセーが取り上げられました。『苦手』と『嫌い』というタイトルです。実は、この文章が掲載されている本^{*}を、令和6年度3月(R7.3)発行の「学校だより」で紹介しています。興味のある方は、本校のHPに掲載しておりますので、ご覧ください。

この本は、小学生新聞の連載をまとめたもので、上学年であれば十分読める内容です。学力調査に取り上げられたからという訳ではありませんが、改めて皆様に(大人にも)お奨めします。ちなみに、私は、『読書量』と『国語力』がお気に入りです。

※『あなたの言葉を』辻村深月 毎日新聞出版

＊

いじめ撲滅強化月間

さいたま市では、6月を「いじめ撲滅強化月間」としてしています。校長講話、啓発ポスターを活用した学級スローガン作りをはじめ、様々な取組を通して、「いじめ」について考え、「撲滅」に向けた気運を高めていきたいと思っております。

今月は個人面談があります。保護者の皆様には、気になることがありましたら、遠慮なくご相談くださいますようお願いいたします。